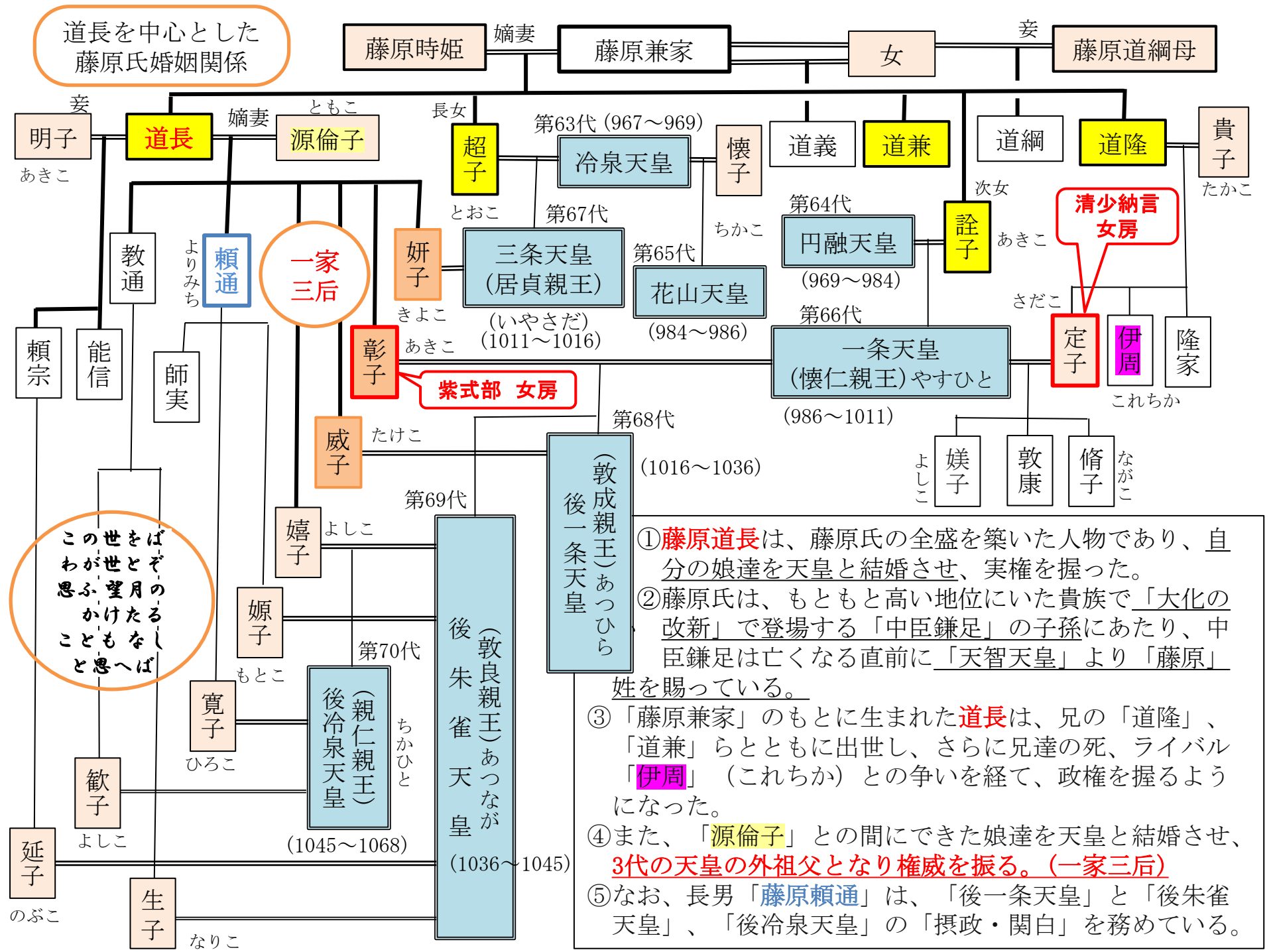
道長を中心とした藤原氏婚姻関係



①**藤原道長**は、藤原氏の全盛を築いた人物であり、自分の娘達を天皇と結婚させ、実権を握った。

②藤原氏は、もともと高い地位にいた貴族で「大化の改新」で登場する「中臣鎌足」の子孫にあたり、中臣鎌足は亡くなる直前に「天智天皇」より「藤原」姓を賜っている。

③「藤原兼家」のもとに生まれた**道長**は、兄の「道隆」、「道兼」らとともに出世し、さらに兄達の死、ライバル「伊周」（これちか）との争いを経て、政権を握るようになった。

④また、「源倫子」との間にできた娘達を天皇と結婚させ、**3代の天皇の外祖父となり権威を振る。（一家三后）**

⑤なお、長男「藤原頼通」は、「後一条天皇」と「後朱雀天皇」、「後冷泉天皇」の「摂政・関白」を務めている。